

最優秀賞に山崎さん

創立百周年の記念歌きまる



▲最優秀賞に選ばれた山崎麻世さん

本学園の創立百周年を祝う記念の学園歌がまきまりました。これは本学園の那須大学、宇都宮短期大学、同附属高等学校、中学校の学生生徒から公募したもので応募総数百五十二編。その中から厳選の結果、最優秀賞に山崎麻世さん(当時二年八組)の「夢、語れ、この学び舎で」が選ばれました。

二 今日という日は新しい
出だ
我々の未来は愛と自由
に溢れている
紫匂う花のように
美しくあれと願ひなが
ら
さあ 夢、語れ この
学び舎で
三 地まぬ歩みは明日への
力
我らの笑顔は夢と希望
に溢れている
風を捲いた鳥のよう
に
気高くあれと願ひなが
ら
さあ はばたこう 純
白の世界へ

なお優秀賞は、高校の岡田真由美さん(二年八組)、別府あすかさん(二年八組)、佐生朝世さん(一年十組)の三人です。
これを発表する特別演奏会は十一月二十五日(土)に栃本県総合文化センターのメインホールで行われますが、これには短大と本校の卒業生や在校生六百人以上の大合唱団が出演します。
最優秀賞の歌詞を紹介し

学園歌
「夢、語れ この学び舎で」
一 永き歴史は偉大な誇り
我らの精神は勇氣と理想に溢れている
澄んだ瞳の鹿のように
優しくあれと願ひなが
ら
さあ 讀えよう 百年
の栄光を

第3回一日体験学習 4000人が参加



▲調理科の先輩の協力で実習

「すばらしいわね」「すげえなあー」こんな言葉があちこちに飛び交う、こころで三回目を迎えた高校の一日体験学習に

は、中学生や先生、保護者など四千人もの多数の方々に参加しました。このため八月二十八日と二十九日の両日の午前午後と四回にわかれて行われましたが、大へん好評でした。

まず各回とも須賀栄子記念講堂大ホールで須賀校長先生の話がありました。

最後は本校からの心づくしのウーロン茶でひと休みして、約三時間のコースを終りました。

教養、情報、商業、調理、音楽科の紹介に移り、それぞれの特徴、進路、授業内容などの説明がありました。

那須大学の平成十二年度第二回オープンキャンパスは七月二十日に行われ、本校からも入学志願者が多数参加しました。

当日は、一河秀洋副学長からわが国初の都市経済学部についての説明があり、大学施設の見学や体験学習が行われました。

須賀 百年史を刊行

創立百周年記念行事に合わせて須賀学園の百年史を刊行されました。

これは教職員、卒業生の皆さんの協力をえて校長先生が執筆されたもので、ひかり輝く「全人教育」のタイトルで須賀学園百年の歩みを綴ったものです。

全校生ならびに保護者や卒業生の方々に広く読んでいただくこと、従来の百年史のスタイルを破って、物語風に読みやすく記述してあり本文三百ページに写真も豊富に掲載され、本校

の生徒の皆さんの活躍もわしく記されています。十二章からなる巻末に年表や特集記事もついています。

また別冊の資料編として「須賀学園史料集(約百ページ)」も同時に刊行されました。

平成十二年度のPTA総会は五月二十日記念講堂大ホールで開かれ、会長には阿部正昭前会長が再任されました。

PTA総会開く

平成十二年度のPTA総会は五月二十日記念講堂大ホールで開かれ、会長には阿部正昭前会長が再任されました。



▲須賀校長先生も中学生に交じって・・・

先生の「創立百周年の歴史と輝かしい伝統をもつ本校を、今日はよく見て理解してください」とのあいさつをお聞きしたのち、普通生活

最後に本校からの心づくしのウーロン茶でひと休みして、約三時間のコースを終りました。

この日の感想を、参加者の一人、普通科志望の栃本東陽中学校三年生、菅谷悠樹君にお聞きしましたら「いろいろと見せていただきましたが、すばらしい施設のなかで楽しそうに勉強しているのが印象に残りました」と話してくれました。

一人でも多い生徒さんの入学をお待ちしています。

那須大学でもオープンキャンパス

那須大学の平成十二年度第二回オープンキャンパスは七月二十日に行われ、本校からも入学志願者が多数参加しました。

当日は、一河秀洋副学長からわが国初の都市経済学部についての説明があり、大学施設の見学や体験学習が行われました。

学校祭は10月28・29日に

創立百周年を記念する今年度の学校祭は「28・29」新しい時代の扉を見つけよう」のテーマで十月二十八日(土)と二十九日(日)の二日間盛大に行われます。

このテーマは全校生から募集したもので、三年十組の生徒の作品が採用されました。

今回は百年に一度のチャンスに恵まれた在校生全員がその夢と希望と喜びとをぶつけてすばらしいアイデアの催しや、展示が校内いっぱいになりひろげられました。

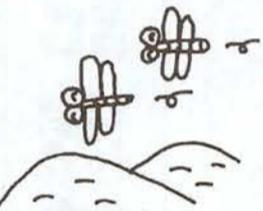
ことしも生徒会では敬老の日、心をこめて贈り物をさし上げました。今回は七十五歳以上のお年寄りが対象で、男子二百四十四人、女子二百八十八人(中学校の分含む)で、お年寄りが費用できるようにとリュックサックが贈られました。

なお九十歳以上は男子三人、女子十五人。最高齢者は一年十六組の仲山綾子さんの曾祖母子よさんの百一歳です。おめでとございしました。

編集後記

「若松25号」をお届けいたします。今回は創立百周年記念特集号として、その関連事業や催しを中心に編集いたしました。

なお、記念式典、記念特別演奏会、記念学校祭などの詳細は「ひめまつ55号」でお知らせいたします。(編集委員長 下山 祐亮)



▲短大の心づくしのお弁当を受ける参加者たち



▲須賀学長先生のあいさつ



▲早くから参加者が受付へつめかけた



▲個人面談を待つ



▲人間福祉学科の説明を聞く



▲キャンパスの内外を見学

短大 オープンキャンパス のスナップ



▲短大音楽科学生の歓迎演奏